



目次

巻頭言「子規と漱石が関わった俳句雑誌」	1
第65回中国四国地区大学図書館協議会総会・第44回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会の開催について	3
平成28年度の企画展示	4
新規データベース紹介	5
図書館からのお知らせ	6
図書館日誌	8

子規と漱石が関わった俳句雑誌

教育学部国語教育国文学・日本近代文学（准教授）青木亮人

一見目立たないが、宝石のように輝く資料群が本大学図書館内に存在することに触れてみよう。

本年は正岡子規・夏目漱石・柳原極堂の生誕百五十周年という。いずれも慶応三(1867)年に生まれ、明治時代の新文学を担った松山ゆかりの人々である。

結核で早世した子規は江戸期以来の俳句や短歌、文章に革命を起こし、また漱石は東京帝国大学教員を辞して朝日新聞社に入社後、西欧風近代小説の頂点を示した。極堂は松山出身で子規と親交があり、松山で早くから子規派の句会を結成、また海南新聞(現

愛媛新聞)に勤めながら子規派初の俳句雑誌「ホトトギス」を創刊した俳人である。

「ホトトギス」は後に東京の高浜虚子に譲られたが、

子規を中心に新俳句を樹立せんとする子規派の俳誌として刊行され続けた。その頃、子規はすでに病床にあったが、彼を大いに喜ばせる出来事もあった。例えば、明治三十四(1901)年にロンドン留学中の漱石から届



出典：明治文学研究 第2巻
正岡子規

いた手紙は、子規を殊の外楽しませたものだ。その洒脱で軽妙な文明論も交えた見聞録を子規は面白く感じ、「ホトトギス」に「倫敦消息」と題して掲載した(明治三十四年四月号)。

しかし、留学中の漱石はノイローゼ気味であり、帰国して帝国大学教員に赴任しても気分が晴れることはなかった。

ある時、「ホトトギス」編集者の高浜虚子が鬱屈する漱石に「気晴らしに何か書かないか」と持ちかけると、漱石は快諾し、瞬く間に文章を書き上げる。虚子が適度に斧正しつつ「ホトトギス」明治三十八年一月号に「吾輩は猫である」として発表するや大評判となった(～同年八月号まで連載)。その後も漱石は請われるまま「ホトトギス」に文章を寄せ、「幻影の盾」(明治三十八年四月号)、「坊つちゃん」(同三十九年四月号)、「正岡子規」(明治四十一年九月号、回想談)等を次々に発表する。あまりの面白さに「ホトトギス」は爆発的に売れ、遂に漱石は朝日新聞社に入社し、専業小説家となったのは広く知られるところであろう。

「ホトトギス」編集を担った高浜虚子は親交を結んだ子規や漱石との思い出を「ホトトギス」に随時発表しており、「子規居士と余」(明治四十四年～大正四〔1915〕年)や「漱石と私」(大正六年)は二人のありようを偲ばせるに足る貴重な回想録といえよう。

ところで、上記のような「ホトトギス」バックナンバーを全て所蔵する図書館が稀であるのご存じだろうか。

しかし、愛媛大学図書館閉架には「ホトトギス」創刊時から大正期に至る巻号が揃っ

ている上、一時貸し出しも可能¹である。これは凄いことだ。意外に知られていないが、明治～大正期の「ホトトギス」を通して読める上、特別な申請をせずとも閉架で気軽に手に取ることが

でき、しかも一時貸し出しまで可能な大学図書館は全国的にほとんど存在しないのである。

加えて、本大学図書館は柳原極堂『友人子規』(前田書店、昭和十八〔1943〕年)も所蔵している。明治二十八年、漱石が松山中学校に英語教師として赴任した際、帰省中の子規が漱石の下宿(愚陀仏庵)で過ごした時期を回想した書物であり、その『友人子規』と「ホトトギス」の現物をゆっくり手に取る行為がいかに贅沢なことか、近代文学と松山の関係を知る人士であれば誰もが肯うところであろう。

俳句雑誌は、例えば肉筆の書簡や稀少本等に比べ価値が低いと見なされがちだが、近代文学と松山の関係で逸することのできない子規と漱石、極堂、そして虚子が文芸を通じて濃密に交わる資料は「ホトトギス」のみである。文化と文物、そして文学を解する人士が本大学図書館の「ホトトギス」『友人子規』等を実際に手に取り、その紙面から往事の彼らの息吹を感じる機会が訪れることを切に願う。



出典：ほととぎす



出典：友人子規

¹ 雑誌一時貸し出しは学内者限定(図書館注記)

第65回中国四国地区大学図書館協議会総会・ 第44回国立大学図書館協会中国四国地区協会 総会の開催について

平成29年4月20日(木)、中国四国地区の国公立大学58校から99人が参加して、「第65回中国四国地区大学図書館協議会総会」が松山市立子規記念博物館で開催されました。



当日は、まず国公立大学合同の全体会議が開催され、平成28年度大学図書館学生協働交流シンポジウムについての報告や今後の在り方の協議などが行われました。



その後、国立大学図書館長会議、公立大学図書館長会議、私立大学図書館長会議、事務(部・課)長会議の4つの職務別会議に分か

れて、学内外に向けて図書館の存在感を高めるアピール方法や、図書館利用マナー向上に関する取り組みなどについて活発な意見交換が行われ、参加者は多くの新しい取り組みが今まさに大学図書館の間で浸透し始めていると感じ取っていました。



また、翌日には、中国四国地区の国立大学・大学校11校から28人が参加して、「第44回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会」が同じく松山市立子規記念博物館で開催されました。平成28年度の活動報告や今後の活動計画についての協議が行われた後、事前に各図書館に調査依頼していた「図書・学術情報系事務組織」、「平成28年度の図書館活動」などについて、活発な討議が行われ、予算・人員共に大変厳しい昨今の図書館事情の再認識と、昨年度にそれぞれの図書館で行ってきた図書館活動を振り返っての再評価などを通して、今後、図書館が進むべき未来を探るための会議となりました。

平成28年度の企画展示

平成28年度には中央図書館にて、これらの企画展示を行いました。



教育企画室選定”大学教職員のための32冊”を展示。(3-5月)



愛媛大学版
大学での学び入門
LEARNING AT EHIME UNIVERSITY
新生セミナーテキスト
”大学での学び入門 2016”のブックリストの図書を展示。(4-5月)



LS (図書館サポーター: Library Supporters) 七夕企画。図書館への要望や図書リクエストを募集。(6-7月)



ブックハンティングの募集および到着図書に関する展示。2016年度は計3回実施。全部で42人の参加があり、509冊の図書を購入了ました。

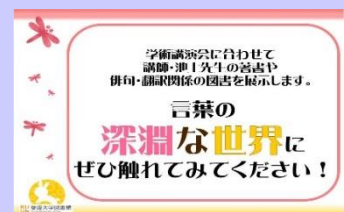
第1回: 募集 5月・実施 6月
職員: 募集 7月・実施 8月
第2回: 募集 10月・実施 11月



ちょっとした空き時間に読める”ゆるっと読書”にオススメの本特集。(8月)



図書館で業務体験をしたインターンシップ生企画の展示。(9月)



学術講演会”俳句と Haiku”に関連した図書の特集。(10月)



発見! 美術に隠されたワザを見つけよう! と題してさまざまな美術の方面の図書の特集。(11月)



大河ドラマの原作や舞台となった各時代に関連した図書の特集。(12月)



LS1 回生中心の企画。学生目線で図書館の案内地図を作成。(1-2月)



いろんな本の、オススメポイントやあらすじを紹介している”本の本”(書評集等) 特集。(3月)

新規データベース紹介

2017 年 4 月から、新しいデータベースを導入しました。ぜひご活用ください。

Scopus

<https://www.scopus.com/>

☆学内限定

世界最大級の抄録・引用文献データベースです。科学・技術・医学・社会科学・人文科学等、全分野をカバーし、世界中の逐次刊行物・会議録・書籍などから文献を収録しています。抄録は 1800 年代から収録。1996 年以降の論文は参考文献の引用リンクが提供され、1995 年以前のものについても遡って追加収録中です。主要な 5 特許庁の特許情報も検索可能です。



<http://www.lib.ehime->

[u.ac.jp/LINK/link_finda.html#yomidasshokan](http://www.lib.ehime-u.ac.jp/LINK/link_finda.html#yomidasshokan)

☆学内限定・同時利用不可

「平成」1986 年 9 月から最新号(前日)までの「読売新聞」がオンラインで読めるデータベースです。2008 年 12 月以降は切り抜き紙面もついています。また、読売新聞社が発行している英字新聞「The Japan News」(旧 The Daily Yomiuri)も 1989 年から最新号(前日)まで利用できます。現代の国内外のキーパーソン 2 万 6,000 人のプロフィールデータを収録した「現代人名録」も利用可能です。

※利用後には必ずログアウトをお願いします。



<https://www.lib.ehime->

[u.ac.jp/LINK/link_finda.html#dna](https://www.lib.ehime-u.ac.jp/LINK/link_finda.html#dna)

☆学内限定・同時利用は 2 名まで

朝日新聞社の創刊(1879 年/明治 12 年)から現在までのすべての新聞記事を検索できる国内最大級のオンラインデータベースです。1985 年以降の記事は全文検索方式に対応しています。2017 年 4 月から基本コンテンツに加え、次のオプションコンテンツが利用できるようになりました。

1. 明治・大正紙面データベース
〔1879(明治 12)年創刊～1926(大正 15)年〕
2. 昭和(戦前)紙面データベース
〔1926(昭和元)年～1945(昭和 20)年〕
3. アサヒグラフ 〔1923(大正 12)年～1956(昭和 31)年〕
4. 朝日新聞歴史写真アーカイブ (満州事変前後から敗戦までの写真約 1 万枚)
5. 英文データベース (2001 年 4 月以降の英字新聞と英文ニュースサイトの記事)

※利用後には必ずログアウトをお願いします。

「Web of science」「理科年表プレミアム」提供終了のお知らせ


「理科年表プレミアム」は平成28年12月末、「Web of science」は平成29年3月末をもって利用が終了いたしました。長年のご利用ありがとうございました。

図書館からのお知らせ

【中央図書館】入館ゲートについてのお願い

昨年の4月から入館ゲートを設置し、2年目となりました。今回、少し気をつけていただきたくことで無くなるエラーについてお願いがあります。

学生証・職員証・図書館利用証をかざしてピッと音が鳴ることを確認してください。鳴る前にゲート内に入るとエラーになることが多いようです。

音が鳴らない場合、かざす場所をご確認ください。基本的に学生・職員は  丸い所にかざします。光が出てい
る場所にかざすのは、QRコードのついた図書館利用証、またはバーコードのついた学生証をお持ちの方のみです。正しくかざしているのに、ピッと音が鳴らない場合、臨時入館口から入ってカウンターに声をかけるようお願いします。



学外の方は図書館利用証で入館ゲートを使用いただいておりますが、利用証には年度更新の手続きが必要です。前年度末に更新をしなかった場合、次年度以降、更新するまでは入館ゲートが使用できませんので、ご注意ください。

中央図書館は平日遅くまで開館していることもあり、セキュリティ強化のために入館ゲートを設置しました。色々とお不便もおかけしますがご協力をお願いします。

【医学部分館】Visible Body on Ovid 講習会を開催

実施会場：医学部総合教育棟基礎第3講義室

実施日時：平成29年4月25日(火) 13:00~14:00

対象：医学科2回生及び看護学科1回生

医学部分館では、医学科2回生及び看護学科1回生を対象に、Wolters Kluwer社から講師を招き、3D人体解剖ソフトウェア「Visible Body」の講習会を開催しました。

受講生は、各種ツールの特長や操作方法など、講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



受講生の感想(一部抜粋)

- ・ 個々のソフトを詳しく説明してもらい、わかりやすかった。
- ・ 既にダウンロードして使っている。
- ・ 使い方のハンドアウトが欲しい。
- ・ 素晴らしいソフトだと思います。
- ・ 分かりやすい説明、ありがとうございました。活用していきたいと思います。
- ・ 楽しかった。理解が深まった。

【農学部分館】図書館利用ガイダンス in 附属高等学校

実施会場：愛媛大学附属高等学校 多目的学習室

実施日時：平成29年1月23日(月) 13:30~15:10

対象：愛媛大学附属高等学校 1年生全員

愛媛大学附属高等学校の生徒さんは、高大連携プログラムにより、愛媛大学の教員の元で「課題研究」を行います。そのため、大学の図書館を使う機会が多くなるので、実際に使う前に図書館の使い方を知っておいてもらうために、中央図書館と農学部分

館の職員各1名が講師として、大学図書館の利用ガイダンスを行いました。

まず、高校までの図書室や公共図書館とは異なる大学図書館の特徴について説明しました。次に、複数の情報源から情報を収集する事の大切さと、情報収集の具体的な方

法について説明しました。

また、情報源の一つである図書館の本を
探す上で必要な OPAC(オンライン蔵書目
録)の操作の説明をし、図書館にある図書以

外の資料について紹介しました。

このガイダンスで学んだことを活かして、
図書館を上手に利用していただければと思
っています。

図書館日誌

- 11月18日 夏目漱石生誕150年記念展示「110年『坊っちゃん』はどう変わったのか」
(愛媛大学ミュージアム第2常設展示室)～3月27日
- 25日 平成28年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議(岡山大学)
平成28年度中国四国地区国立大学図書系・学術情報系人事担当課長会議(岡
山大学)
- 12月2日 平成28年度第2回農学部分館運営委員会
平成28年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議(岡山大学)
- 8日 平成28年度第3回図書館委員会
- 13日 図書館等職員著作権実務講習会(九州大学)～14日
- 14日 Web of Science 講習会
- 22日 大学図書館学生協働交流シンポジウム第1回事前打合せ
- 27日 平成28年度第3回医学部図書情報委員会
- 1月23日 附属高等学校1年生対象大学図書館ガイダンス(愛媛大学附属高等学校)
- 24日 大学図書館学生協働交流シンポジウム第2回事前打合せ
- 31日 図書館年報「あゆみ」創刊
- 2月27日 平成28年度国立大学図書館協会中四国地区協会事業委員会総会(岡山大学)
- 28日 湯築小学校(5年生3クラス)地域連携実習来館
- 3月1日 平成28年度第4回医学部図書情報委員会
- 16日 平成28年度第6回図書館委員会
- 4月12日 「米山 多様な美の形」展～7月31日(愛媛大学ミュージアム第2常設展
示室)
- 20日 第65回中国四国地区大学図書館協会協議会総会(子規記念博物館)
- 21日 第44回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会(子規記念博物館)
- 25日 Visible Body on Ovid 講習会

愛媛大学図書館「図書館だより」第102号 2017年5月15日発行

編集：館報編集委員会

発行：愛媛大学図書館 〒790-8577 松山市文京町3番 TEL (089)927-8845